

令和6年度第1回福岡県ブルーカーボン推進協議会が開催されました！

産学官の幅広い方面の方に賛同・参加いただき、協働していくことでブルーカーボンの創出を推進するため、福岡県ブルーカーボン推進協議会が4月26日(金)に設立され、第1回協議会が開催されました。

協議会の会員は、県、筑前沿海市町、漁業者団体、農業関係団体、九州大学、地元企業及び団体、水産高校で構成されており、福岡県漁業協同組合連合会の佐藤会長が協議会会長に、福岡県農林水産部水産局の上妻局長が副会長に選任されました。

佐藤会長はあいさつで、「県が中心となって、藻場の保全活動やウニ養殖を広域的な取り組みとして進めていけることは大変ありがたい」と感謝の意を表し、上妻副会長は「ワンヘルスアプローチにもつながる、藻場の環境保全を進めてまいりたい」と意気込みを述べました。

協議会では、漁業者や地元企業など、152名の参加者で会場がいっぱいになり、基調講演と事例紹介が行われました。

(基調講演)

「ブルーカーボンがつなぐ脱炭素社会とハマ」(九州大学 栗田准教授)

(事例紹介)

①「漁業者による藻場の保全活動とウニ養殖技術開発について」

(福岡県水産海洋技術センター 林所長)

②「遠賀漁協と水産高校生によるウニ養殖と試験販売」(遠賀漁協 河村参事)

③「『町いちばんの会社』を目指したブルーカーボンの取り組み」

(トヨタ自動車九州株式会社 濱口 CN 推進グループ長)

※[基調講演と事例紹介の動画は、各タイトルをクリックすると再生されます](#)



協議会の様子



基調講演